



いずみ

令和5年7月3日発行

<学校教育目標>
かしこい子
やさしい子
たくましい子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

「問い」から始まる学び

校長 鷲見 真太郎

今年度、和泉小学校は「問いをもって学び続ける児童の育成」をテーマとし、校内研究に取り組んでいます。

さて、ここでいう「問い」とは何か。本校では、2つの捉え方をしています。

ひとつ目は、教師が子供たちに投げかける「問い」です。子供たちが興味をもち、学びに向かう内発的な動機につながるような、本質的な「問い」を追究します。それは、単に教師が子供たちに問いかける、といった発問としてだけでなく、授業の導入時の教材提示や活動の見通しなども含めます。

ふたつ目は、子供たち自身がもつ「問い」です。子供たちの中に生まれる「どうして〇〇なのだろう」「どのようにして〇〇になっているのだろう」「なぜ〇〇なのか」といった「？」を追究し、学びを進めていきます。さらに、学び進めていく中で、新たに湧き出てくる「？」の追究が続くような学習の流れを理想としています。

「問う」ことは、思考の源であり、そもそも学問の祖である哲学も、まずはこの「問う」ことから始まっています。よって、「問う」ことは、学びの源とも言えます。本校では、授業だけでなく、学校生活全般において、「問い」を大切にしています。「今の行動はそれでよいと考えるか。」「今の発言や行動は相手の立場に立った時には、どのように感じるか。」「学校(学級)のために何ができるか。」「今後、どのような学校生活を送りたいか。」など、今後も子供たちに様々な「問い」を投げかけていきます。そして、その「問い」が共感・共有され、子供たち自身の「問い」となった時、子供たちの新たな行動・学びとして、輝く姿が見られることを期待します。

もちろん「問い」続けるのは、子供たちだけではありません。私たち教員も常に、子供たちに何ができるか、を「問い」続けて教育活動を進めていきます。

7月の生活目標

学校をきれいにしよう

- 机やロッカーの中を整理整頓する。
- 計画的に学習用具を持ち帰る。

7月の安全指導

交通安全・安全な生活(いかのおすし)

- いざという時は逃げるのが大切です。地域には【子ども110番】がありますので、逃げる場所を確認しておきましょう。また、防犯ブザーの確認も合わせてお願いします。